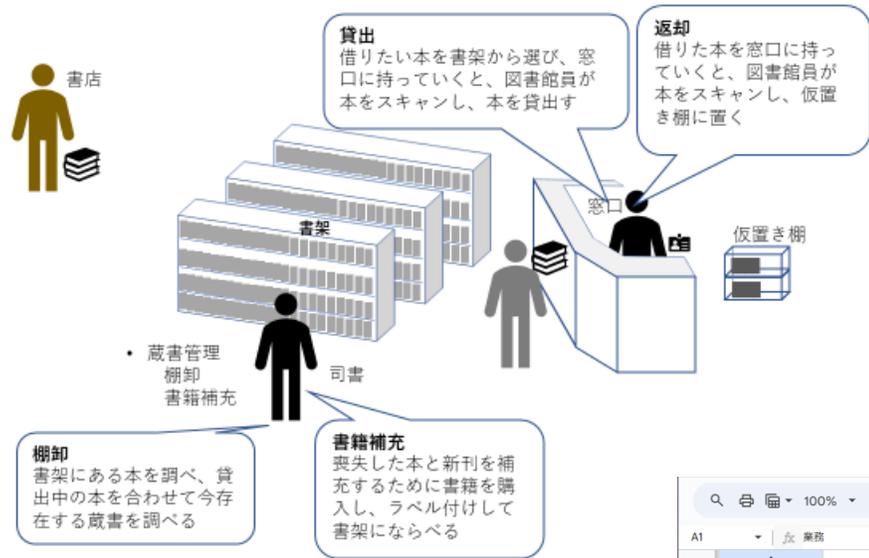


RDRA 1日セミナー

RDRAを使って要件定義を行う方法を
説明

RDRAセミナー概要

私立図書館（中央図書館）のIT化



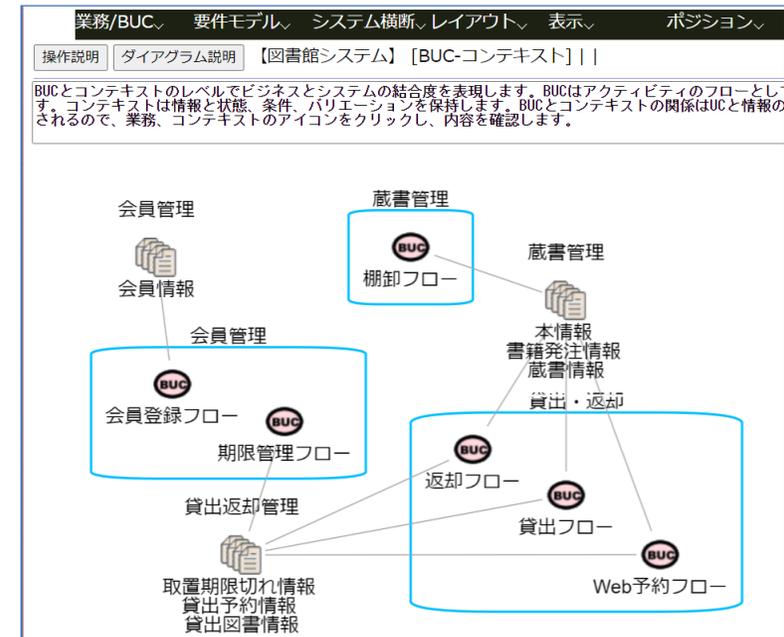
内容

- 演習形式でRDRAの考え方を手を動かしながら理解します
- 最初にRDRAの基本的な考え方を説明し、その後でStep-By-StepでRDRAの定義を行いながら、要件を定義する手法を学びます

実施形態

- 1日6時間
- オンサイト形式

業務	BUC	先	アクティビティ	次	UC	関連モ	関連オブジェクト	関
貸出・返却	貸出フロー		書架から本を探す	↓	蔵書の貸出を登録する	画面	貸出登録画面	アクター
			蔵書を貸出す			情報	貸出図書情報	アクター
						情報	蔵書情報	
						情報	貸出予約情報	
						条件	貸出制限条件	
Web予約フロー	Web予約フロー		貸出予約	↓	貸出本の予約・取消をする	画面	蔵書検索画面	アクター
						画面	貸出予約画面	アクター
						情報	蔵書情報	
						情報	貸出予約情報	
			予約図書準備	↓	予約図書一覧を出力する	画面	貸出予約一覧画面	アクター
						情報	貸出予約情報	
						条件	貸出予約一覧出力条件	
						情報	貸出予約情報	
						情報	蔵書情報	
						画面	貸出準備登録画面	アクター
						イベント	貸出可能通知	アクター



時間割

1日目 エンプラモデルの作成	
1 時間目	<ul style="list-style-type: none">■要件定義レクチャー<ul style="list-style-type: none">・要件定義では何が起こり どうすればいいのか■要件定義レクチャープロセス<ul style="list-style-type: none">・要件定義をどのようにすすめるのか
2 時間目	<ul style="list-style-type: none">■図書館の概要理解<ul style="list-style-type: none">・要求の把握<ul style="list-style-type: none">図書館の理解：問題・要求の把握■登場人物の把握<ul style="list-style-type: none">⇒アクター、外部システムの洗い出し■業務の組立<ul style="list-style-type: none">⇒業務からBUC、アクティビティの洗い出し
3 時間目	<ul style="list-style-type: none">■システムの組立<ul style="list-style-type: none">・情報モデル作成<ul style="list-style-type: none">⇒情報モデルの作成・システムの把握<ul style="list-style-type: none">⇒UCの洗い出し
4 時間目	<ul style="list-style-type: none">■状態の把握<ul style="list-style-type: none">・状態モデルの作成<ul style="list-style-type: none">⇒蔵書の状態モデルの作成⇒状態遷移にUCを追記
5 時間目	<ul style="list-style-type: none">■ビジネスルールの整理<ul style="list-style-type: none">⇒バリエーション・条件の洗い出し⇒UCに条件を結びつける
6 時間目	<ul style="list-style-type: none">■分析ツールを使った整合性の確認<ul style="list-style-type: none">不整合を確認し■グラフィカルに定義を確認する<ul style="list-style-type: none">⇒RDRAGraphの実行■まとめ

費用とご用意いただく物

- セミナー費用

- 期間：1日 6時間
- 費用：400,000円（税別）
- 出張費100,000円（税別） 札幌以外で実施の場合
- 実施人数15名まで

- 実施形態

- 3名1組のグループワーク
 - 1台のPCを3名で使用し、議論しながらRDRAのモデルを作成（一人1台でも可）
 - Google SpreadSheet（推奨）

- ご用意いただくもの

- ホワイトボード
- プロジェクター
- グループ毎のPC
 - Googleのアカウントの取得（Google SpreadSheetの場合）